



飛揚準備をする当社社員と
CO2ゾンデ

海外で初のCO2ゾンデによる観測を実施！

国立環境研究所地球環境研究センター様は、2015年1月にマレーシア(ボルネオ島北部)でCO2ゾンデ観測を行い、当社技術者2名が観測支援として参加しました。森林破壊・温暖化防止を目的とした途上国の森林保全を促進する国際的な取り組み(REDD+)に関連し、マレーシアの熱帯林のCO2排出・吸収量を評価する手法の一つとして当社製CO2ゾンデが採用されました。CO2ゾンデで観測することにより、大気中のCO2濃度の鉛直分布を直接かつ高分解能に観測することができます。北海道天塩、沖縄県西表島での観測に続くものであり、ボルネオ島北部沿岸の貴重なデータを得ることができ、今年度も引き続き観測が予定されています。このような国際的な環境保全活動の枠組みに貢献できるように、今後も計測機器の開発、観測サポートを行っていきます。

※インドネシアでは、カリマンタン島と呼ばれていますが、マレーシアで一般的に使用されているボルネオ島としています。

(担当: 気象・管制事業部)



IHIグループ展示ブース



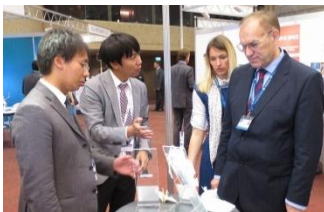
展示会場での様子

日本地球惑星科学連合2015年大会に出展

5月24日から28日まで幕張メッセで行われた、日本地球惑星科学連合2015年大会(JpGU Meeting 2015)に出展しました。

この大会は、世界中から地球惑星科学の研究者や学生が集う研究成果報告会で、多くの口頭発表やポスター発表、招待講演やスペシャルレクチャーなどが行われました。明星電気はIHIと共に、国内外のニーズの把握、技術カアピール、拡販・市場拡大を目的として、小型衛星の姿勢制御用地球センサ、GPS受信機、小型衛星50kg衛星の模型や、超高密度気象観測システム「POTEKA」を展示しました。大会期間中は、学生から大学の先生、企業関係者まで、多くの方が来場されました。今後もこのような機会をとらえ、更なる市場開拓、受注・拡販を目指して行きます。

(担当: 宇宙防衛事業部)



来場者に説明する当社社員(左)



展示ブース全景

METEOHYDEX2015に出展

2015年6月1日から3日までの3日間、第17回世界気象機関(WMO)総会と同時に、気象・水理観測機器の展示会であるMETEOHYDEX2015が、スイス・ジュネーブにて開催されました。

この総会と展示会は4年に一度開催されており、世界各国の気象機関のトップが集う場となっています。明星電気は「最小・最軽量」のラジオゾンデIMS-100と、「環境のための計測技術」として光学的二酸化炭素自動測定器(FES-C)及び、特殊ゾンデ(CO2ゾンデ、雲粒子ゾンデ)の2テーマで展示を行いました。訪れたお客様からは、当社の環境問題に貢献するという展示テーマについて、とても高い評価をいただきました。実物の製品を手にとっていただき、Face-to-Faceでお客様と交流できたことは、製品に関する意見や感想を直に聞ける良い機会となり、また、世界への当社製品の拡販に向けて大きな成果が得られました。

今後も、国内外に明星電気の環境計測技術をアピールしていきます。

(担当: 気象・管制事業部、グローバル営業グループ)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。